

高圧ガス容器管理台帳（授受管理用 様式）

消費事業所名：

容器管理責任者：

受入れ年月日	容器記号	容器番号	ガス種別	貯蔵場所等	返却年月日
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /

【医療用途を除く消費事業者及び販売業者】

※得意先コードは、販売業者の容器管理システムあるいは、取引記録がある経理システム上の当該渡し先のコード番号を記入する。

※MAPは、本データをパソコン上で保存する場合に、Web地図サービス提供のアドレスを入力する。

前記回収状況	<input type="checkbox"/> 第1種製造	<input type="checkbox"/> 第2種製造	<input type="checkbox"/> 第1種貯蔵	<input type="checkbox"/> 第2種貯蔵	<input type="checkbox"/> 特定消費	<input type="checkbox"/> 消防法第9条の3届出
責任者	<input checked="" type="checkbox"/> 保費責任者					
<input type="checkbox"/>	部署役職	氏名	連絡	部署役職	氏名	連絡
		[e-mailto:]			[e-mailto:]	[e-mailto:]
売買契約	年	月	<input type="checkbox"/>	寄附貨物 借受料	年	月
貸与開始日						
年	月	日	<input type="checkbox"/>	期限	年	月
設備明細						
貸与契約						
年	月	日				
年	月	日				
年	月	日				
年	月	日				
管理委託 (任意)	年	月	日	協定書	年	月
現場駐在	第一種	m	第二種	m	消費の場所	<input type="checkbox"/> 事業所内 <input type="checkbox"/> 現場持出

※置場距離は、それぞれ第一種に容器置場から直近の第一種保安物件までの、第二種に第二種保安物件までの距離を記載する。

[illegible]

※引き渡すガスごとに、MSDSの配布、その他の合致する項目に○をつける。「指導」は引渡しの状況が適法でない場合などで、消費事業者に指導などを行った場合、当該欄に○を付け、裏面に詳細を記録する。

一般高圧ガス引渡先保安台帳（裏面）
【医療用途を除く消費事業者及び販売業者】

<input type="checkbox"/> 取引先が販売業者の場合	届出	年	月	日	販売責任者 (販売主任者)	名
--------------------------------------	----	---	---	---	------------------	---

※高圧ガスの引渡し先が販売業者等の場合で、引き渡した高圧ガスを再販する場合には、その販売するガスに応じて、そのガスの届出ごとに販売主任者などを記録しておく。

周知記録	周知が 国要 国不要 な引渡し先	周知日付	年	月	日	年	月	日	年	月	日
		周知した者の氏名				年	月	日	年	月	日
		周知日付				年	月	日	年	月	日
		周知した者の氏名				年	月	日	年	月	日
		保安情報の 周知方法の確認	冊子・書類 <input type="checkbox"/> 吊下げ・据置き	<input type="checkbox"/> 回覧 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 会議・講習		ポスターちらし類 <input type="checkbox"/> 貼出など				

※周知文書を配布した場合は、周知文書に添付の周知文書受領書を保存し、配布年月日をここに版記する。

保安事項記録欄										
実施日		点検・保安・講習等に関する事項			対応措置		対象者		別添	
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>
年	月	日								<input type="checkbox"/>

※保安記録記載事項
引渡し先に対して行った保安上の指導、助言、あるいは高圧ガスにかかわる事故、災害の状況、及び容器、配管、施設など異常の有無及びそれに対してとった措置、その他保安上の資料となる事項。(指導フォーム、事故報告、教育報告などを添付してください)

保安責任者 (販売業者)						
	年	月	日～	年	月	日～
	年	月	日～	年	月	日～

※保安責任者は、販売業者側の当該引渡し先に対する販売上の保安責任者を記入する。年月日には選任された日付を記入する。

高圧ガス消費先点検表

点検年月日 年 月 日

点検ガス名：酸素・アセチレン・窒素・アルゴン・炭酸ガス・液化石油ガス・

私も販売業者は高圧ガス保安法及び保安規則を遵守し、高圧ガスの貯蔵、販売、移動等高圧ガスの取扱いについて最大の努力をいたしますが、貴事業所におかれましても、一般高圧ガス保安規則第59条及び第60条に定める「消費の基準」並びに下記点検事項及び一般管理事項を守られ、高圧ガスによる災害を防止されますよう安全管理、運用をお願いいたします。

販売店名

殿

立合者名

㊦

(電話)

()

点検者名

㊦

I 高圧ガス容器保管状況

1-1	高圧ガス容器置場の 有・無	良	否
1-2	通風・換気の良・否 (40度C以下に保つこと)、直射日光、風雨にさらされていないか	良	否
1-3	転倒、転落防止の設備がなされているか	良	否
1-4	警戒標識 (高圧ガス置場、関係者以外の立入禁止、火気厳禁 (2M以内) 可燃性ガス、不活性ガスの区分等)	良	否
1-5	充瓶、空瓶の区分がされているか、ガス容器のバルブが完全に締められているか	良	否
1-6	消火装置は適正に装備されているか (B-10粉末消火器 本)	良	否
1-7	容器キヤップは確実に取付られているか	良	否

II 消費設備の状況

2-1	消費設備の使用前、終業時点検が行われているか (ガス漏れ・器具不良・記録簿等)	良	否
2-2	集合装置及び配管にガス漏れ箇所、腐食部分はないか	良	否
2-3	容器への取付け部 (容器バルブ出口) にガス漏れはないか	良	否
2-4	安全器 (乾式、水封式) は取付られているか	有	無
2-5	調整器及び圧力計は正常なものが使用されているか	良	否
2-6	ゴムホースからのガス漏れ及びゴムホースと調整器・吹管との連結部のガス漏れ点検が確実に行われているか	良	否
2-7	ゴムホースの連結部にすべてホースバンドが取付られているか	良	否

III 作業状況からみた安全性等

3-1	使用中の容器バルブには常時バルブ開閉ハンドルが取付られているか (開度は1.5回転以内)	良	否
3-2	油脂類が付着した素手又は手袋で酸素容器及び器具を操作していないか (酸素接触部に油脂厳禁)	良	否
3-3	作業者の保護具の着用は充分であるか (メガネ、手袋、帽子、安全靴等)	良	否
3-4	消火器の有効期限が過ぎているか、適当な本数が適当な場所に置いてあるか (B-10以上の粉末消火器)	良	否
3-5	高圧ガスの作業場所の通風・換気は充分か	良	否
3-6	アセチレン及び液化ガスの容器は立てて使用されているか	良	否
3-7	可燃性ガス、酸素の使用設備から5M以内は喫煙・火気を禁じ、引火性・発火性の物が置かれていないか	良	否
3-8	高圧ガス容器を火花の飛来する場所に置いたり、作業台や定盤かわりに使用していないか	良	否
3-9	ゴムホースが通路を横断している場合は、保護措置がされているか	良	否
3-10	作業者は労働安全衛生法におけるガス溶接技能講習修了者であるか	良	否
3-11	消防法関係の届出がされているか (アセチレン40kg、LPG300kg等以上を置く場合)	良	否

IV 一般管理事項

(1) 高圧ガスの消費設備及び容器の管理、取扱いは正しく行なって下さい。

① 使用済容器は速やかに返還し、盗難や紛失防止にご配慮下さい。

② 万一、盗難、紛失、事故発生の場合は、直ちに所轄警察署及び販売店に連絡して下さい。

③ 高圧ガスを消費する場合は、一般高圧ガス保安規則第59条及び第60条の「消費の基準」(例示基準 6、17、31、50、51、54、79) を遵守して下さい。同条項違反の場合は、高圧ガス保安法により罰金刑が科せられることがあります。

(2) 高圧ガスの消費設備については日常点検及び維持管理を必ず実施して下さい。

(3) 消費の方法、置場、取扱責任者等に変更あるときは、速やかに販売店へ連絡して下さい。

高 圧 ガ ス

周知文書

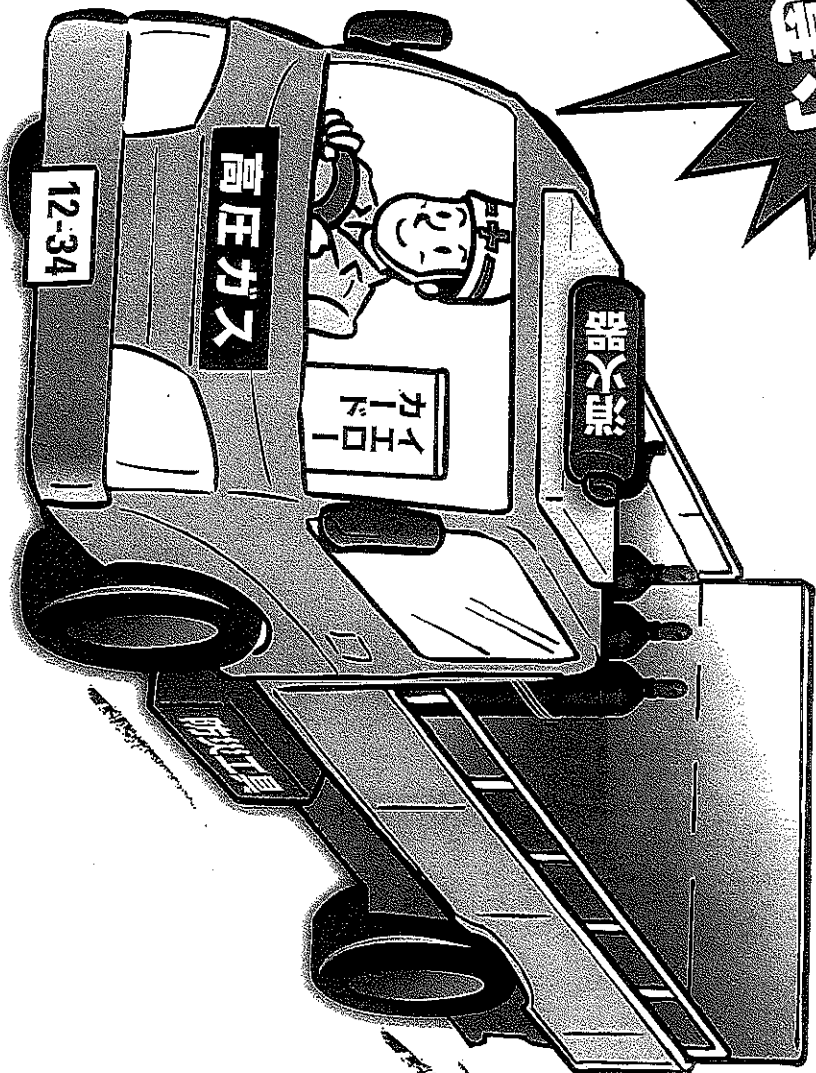
溶接または熱切断用アセチレン・液化石油ガス、酸素 用

この書面は、高圧ガス保安法第20条の5第1項(周知させる義務等)に基づいて高圧ガスの消費者に対し販売契約を締結したとき及び周知後1年に1回、使用時の注意事項をお知らせするものです。高圧ガスをご使用のときは、法規(高圧ガス保安法、一般高圧ガス保安規則、液化石油ガス保安規則、容器保安規則)ならびに関係法令(労働安全衛生法、消防法、国民保護法他)を遵守され、高圧ガスによる災害防止に努められるようお願い申し上げます。

取扱い上の注意事項

- 高圧ガスを運ぶ車両は前後に警戒標が必要です。
- 酸素・可燃性/毒ガス等は消火器と防災工具とイエローカードが必要です。

法令遵守



○高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止するため、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱及び消費並びに容器の製造及び取扱を規制するとともに、民間事業者及び高圧ガス保安協会による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進し、もって公共の安全を確保することを目的としています。

◇高圧ガス容器※について

すべての高圧ガス容器は永久に高圧のままガスを閉じ込めておけるものではありません。ガスの性状、容器のつくりや販売店のサポート体制などから消費事業所での容器滞留期間を販売店とあらかじめ文書で取り決め、容器内のガスの残量にかかわらず、決められた期間以上滞留しないよう心がけてください。※本書面では断りのない限り高圧ガス容器のことを単に「容器」と呼びます。

一般社団法人 全国高圧ガス溶材組合連合会

高圧ガス保安協会監修／一般社団法人 日本産業・医療ガス協会推奨

事故届 様式第58 (第98条関係)

事故届書	一般	
	×整理番号 ×受理年月日	年月日
氏名又は名称 (事業所の名称又は 販売所の名称を含む。)		
住所又は事務所(本社)所在地		
事業所所在地		
事故発生日		
事故発生場所		
事故の状況	別紙のとおり	

年 月 日

代表者 氏名 印

都道府県知事 殿

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
 - 2 ×印の項は記載しないこと。
 - 3 事故の状況については、別紙にできるだけ詳細に記載すること。
 - 4 氏名を記載し、押印することによって、署名することができる。
この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

高圧ガス保安法における「事故」とは、経済産業省商務情報政策局産業保安部門 制定の「高圧ガス保安法事故措置マニュアル」に以下のように定められています。

事故等の定義

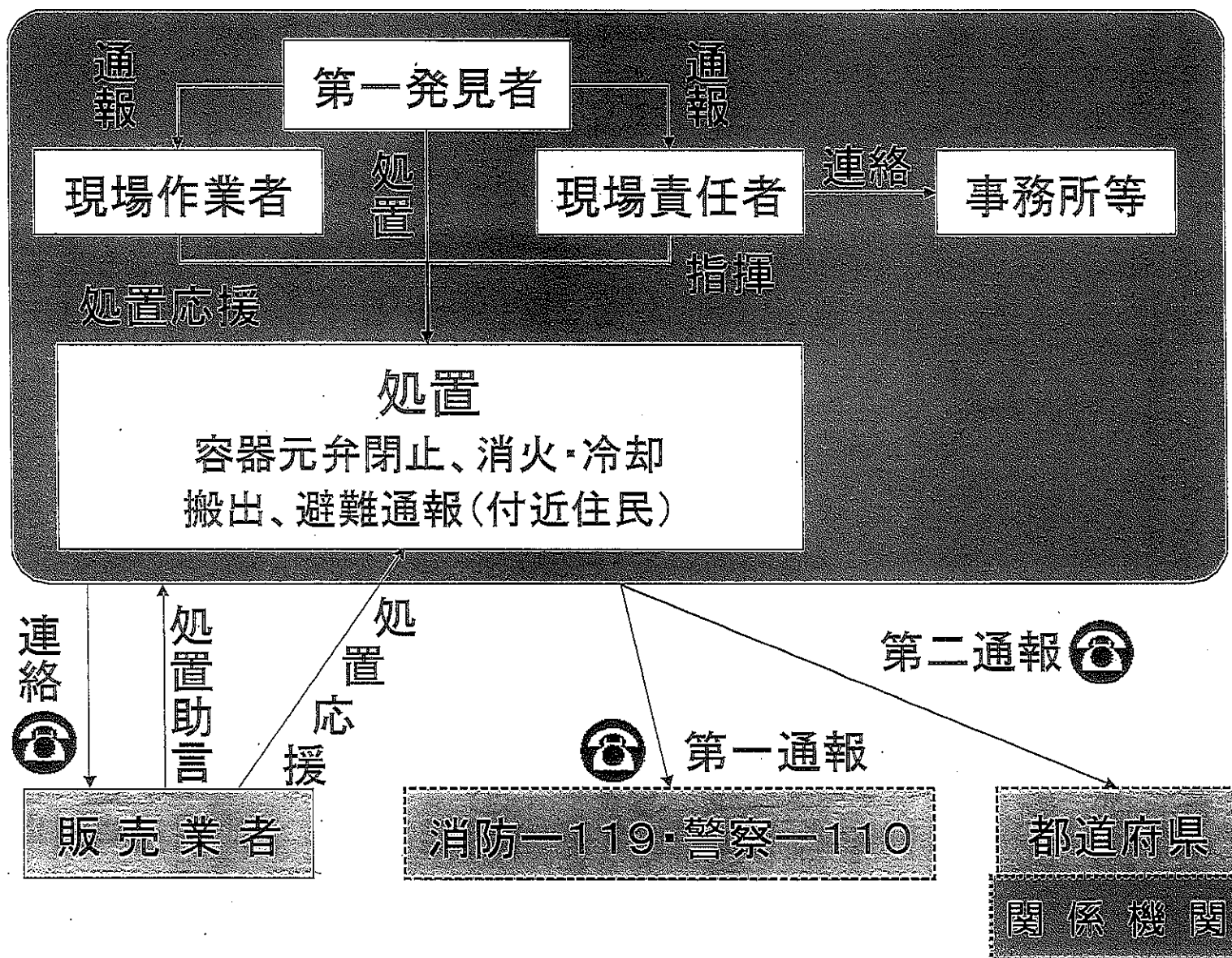
(1) 高圧ガスに係る事故等とは、高圧法の適用を受ける高圧ガスの製造、貯蔵販売、移動その他の取扱、消費及び廃棄並びに容器の取扱（以下「製造等」という。）中に発生した事故等で、次に掲げるものをいう。なお、高圧法の法令違反があり、その結果として、災害が発生した場合には、高圧ガスが存する部分の事故に限らず「高圧ガスに係る事故等」として取り扱う。

- ①爆発（高圧ガス設備等（以下「設備等」という。）が爆発したものをいう。以下同じ）
- ②火災（設備等において、燃焼現象が生じたものをいう。以下同じ。）
- ③噴出・漏えい（設備等において高圧ガスの噴出又は漏えいが生じたものをいう。以下同じ。）

ただし、以下のいずれかの場合は除く。

- 1) 噴出・漏えいしたガスが毒性ガス又は可燃性ガス（液化石油ガス及び天然ガスを除く。）以外のガスであって、噴出・漏えいの部位が締結部（フランジ式継手、ねじ込み式継手、フレア式継手又はホース継手）又は開閉部（バルブ又はコック）であり、噴出・漏えいの程度が微量（石けん水等を塗布した場合、気泡が発生する程度）であって、かつ、人的被害のない場合
 - 2) 完成検査、保安検査若しくは定期自主検査における耐圧試験時又は気密試験時の少量の噴出・漏えいであって、かつ、人的被害のない場合
- ④破裂・破損等（設備等の破裂、破損又は破壊等が生じたものをいう。以下同じ）
 - ⑤喪失・盗難（高圧ガス又は高圧ガス容器の喪失又は盗難をいう。以下同じ）
 - ⑥高圧ガスの製造のための施設、貯蔵所、販売のための施設、特定高圧ガスの消費のための施設又は高圧ガスを充てんした容器が危険な状態となったとき。
 - ⑦その他

高压ガス緊急時連絡体制図



保安責任者	容器責任者	教育担当者

保安教育訓練実施記録

教育方法	
実施年周回	年 月 日 () [: ~ :]
場所	
講師	
題目	
内容	内容・主旨
	詳細・参考文献など
出席者名	
摘要	

作成者

作成年月日

(以下「乙」という。)との間において、次とおり契約を締結する。

III

高圧ガス容器管理台帳（持ち出し用 様式）

消費事業所名:

容器管理責任者:

持出し年月日	容器記号	容器番号	出納担当者	持出し先名称	帰着年月日
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /
/ /					/ /

高压ガス容器及び附属設備年間点検票

	実施年月日	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■
容 器	滞留本数						
	内使用終了本数 (老朽、期限、使用済等)						
	対処了年月日						
逆 火 防 止 器	全個数						
	一年以内						
	二年以内						
	三年以内						
	対応						
調 整 器	全個数						
	七年以内						
	対応						
ホ ー ス	点検箇所						
	漏洩						
	外観異常						
	交換・対応						
配 管	点検箇所						
	漏洩						
	外観異常						
	対応						
	作成	印	印	印	印	印	印